

## V. 障害のある者への配慮



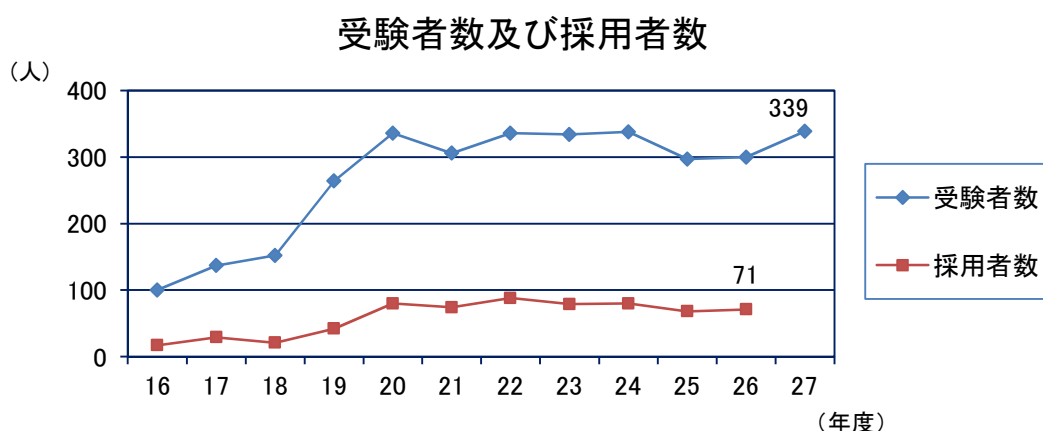
## 1 障害のある者を対象とした特別選考

障害のある者を対象とした選考は、67区市(前年同)で行われ、受験資格は障害者手帳保有者(66区市)などとなっている。募集人員については、一般採用人員に含めている場合が46区市となっており、採用数を明示しているのは25区市となっている。

### ○ 障害のある者の受験者数及び採用者数

障害のある者の受験者は、平成27年度で339人(うち特別選考302人)であり、平成26年度の300人(うち特別選考269人)と比べて、受験者数全体、特別選考による受験者数ともに増加となった。

平成26年度の採用者数は71人であり、そのうち特別選考において66人が採用された。



## 2 試験時における障害のある者への配慮

### ○ 周知方法

教員採用選考試験時における障害のある者への配慮は全ての教育委員会において実施され、募集要項やホームページ等によりその周知を図っている。4区市が障害者施設・団体を通じた周知等を行った。

### ○ 筆記試験における配慮

- ・ 視覚障害者への配慮 67区市
  - 文字・用紙の拡大……………50区市
  - 試験時間延長……………48区市 等
- ・ 聴覚障害者への配慮 68区市
  - 手話通訳……………51区市
  - 書面・筆談指示……………48区市 等
- ・ 肢体不自由者への配慮 65区市
  - 別室受験……………37区市
  - 試験会場・机等の配慮……………43区市 等

### ○ 筆記試験以外における配慮

手話通訳等の配置、実技試験や面接の差替・免除、駐車場確保等がなされている。

1 障害のある者を対象とした特別選考

(1) 障害のある者を対象とした選考

県市名	実施状況		募集人員			受験資格		選考方法・内容	
		選考名	一般採用に含む	採用数明示	若干名	障害者手帳保有	介助者不要・自力通勤	一般選考試験と同様	一部の免除等を行う場合の配慮
1	北海道	○	障がい者特別選考	○			○	○	○
2	青森県	○	身体障害者特別選考	○			○	○	○
3	岩手県	○	障がい者特別選考			○	○		○
4	宮城県	○	障害者特別選考	○*		*	○	*	○
5	秋田県	○	障害者特別選考	○		*	○	○	○
6	山形県	○	身体障がい者特別選考		○ 約10名		○	○	○
7	福島県	○	特別選考Ⅲ(身体障がい者特別選考)	○			○	○	○
8	茨城県	○	身体障害者を対象とした選考	○	○ 全校種で10名		○	○	○
9	栃木県	○	身体に障害のある方を対象とした選考		○ 5名以内		○	○	○
10	群馬県	○	身体障害者特別選考試験	○	○ 5名程度		○	○	○
11	埼玉県	○	障害者特別選考			○	○	○	○
12	千葉県	○	身体障害者を対象とした特別選考	○	○ 約5名		○	○	○
13	東京都	○	障害に配慮した選考	○				○	○
14	神奈川県	○	身体障害者特別選考		○ 10名程度		○		○
15	新潟県	○	身体障害者特別選考	○	○ 8名		○		○
16	富山県	○	特別選考 身体障害			○	○	○	○
17	石川県	○	身体に障がいのある受験者を対象とした選考	○			○	○	○
18	福井県	○	身体障害者特別選考	○		○	○	○	○
19	山梨県	○	身体に障害のある人を対象とした特別選考			○	○	○	○
20	長野県	○	身体に障害のある人を対象とした特別選考1		○ 10名		○	○	○
21	岐阜県	○	障がい者特別選考		○ 6名		○	○	○
22	静岡県	○	身体障害者特別選考	○	○ 10名程度		○	○	○
23	愛知県	○	障害者大学推薦特別選考	○			○	○	○
24	三重県	○	障がい者を対象とした特別選考	○			○	○	○
25	滋賀県	○	身体障害者特別選考	○	○ 10名		○	○	○
26	京都府	○	身体障害者特別選考			○	○	○	○
27	大阪府	○	身体障がい者対象の選考	○	○* 10名		○		○
28	兵庫県	○	身体障害者を対象とした特別選考	○			○	○	○
29	奈良県	○	身体に障害がある人を対象とした選考	○			○	○	○
30	和歌山県	○	身体に障害のある人を対象とした選考	○			○	○	○
31	鳥取県	○	身体に障がいのある者を対象とした選考	○	○ 5名		○	○	○
32	島根県	○	身体に障がいのある者を対象とした選考		○ 3名		○	○	○
33	岡山県	○	身体に障害のある者を対象とした選考			○	○	○	○
34	広島県	○	身体に障害のある者を対象とした特別選考	○	○ 10名		○	○	○
35	山口県	○	身体障害者を対象とした選考		○ 8名		○	○	○

県市名	実施状況		募集人員			受験資格		選考方法・内容		
	○	選考名	一般採用に含む	採用数明示	若干名	障害者手帳保有	自力通勤・不要	一般選考試験と同様	一定の場合に一部免除等の配慮を行う	
36	徳島県	○		○ 3名程度		○	○		○	
37	香川県	○	特別選考Ⅱ(身体障害者を対象とした選考)	○			○	○		
38	愛媛県	○	障害者特別選考		○ 5名程度		○	○	○	
39	高知県	○	障害のある者を対象とした選考			○	○	○		
40	福岡県	○	身体障害者を対象とした特別選考			○	○	○	○	
41	佐賀県	○	身体障害者特別選考	○			○	○	○	
42	長崎県	○	障害者特別採用選考			○	○	○	○	
43	熊本県	○	身体に障がいのある者を対象とした特別選考	*	○ 8名		○	○	○	
44	大分県	○	特別選考Ⅰ(障がい者特別選考)		○ 2名		○	○	○	
45	宮崎県	○	障がいのある者を対象とした特別選考試験Ⅰ、Ⅱ	○	○Ⅱ* 2名	○Ⅰ*	○	○	○	
46	鹿児島県	○	障害者特別選考	○			○	○	○	
47	沖縄県	○	身体に障害のある者を対象とした特別選考	○*		○	○	○		
48	札幌市	○	障害者特別選考	○			○	○	○	
49	仙台市	○	障害者特別選考	○*		*	○	*	○	
50	さいたま市	○	障害者特別選考	○			○	○	○	
51	千葉市	○	身体障害者を対象とした特別選考	○	○ 約5名		○	○	○	
52	横浜市	○	特別選考⑥(身体障害者特別選考)	○			○	○		
53	川崎市	○	特別選考Ⅴ(身体障がい者特別選考)	○			○	○	○	
54	相模原市	○	身体障害者特別選考	○			○	○	○	
55	新潟市	○	障がい者特別選考	○			○	○	○	
56	静岡市	○	身体に障がいのある者を対象とした選考	○			○	○		
57	浜松市	○	身体に障がいのある者を対象とした選考	○			○	○	○*	
58	名古屋市	○	障害者特別選考試験	○*	○ 10名		○	*	○	
59	京都市	○	身体障害者特別選考	○			○	○	○	
60	大阪市	○	身体障がい者対象選考	○			○		○	
61	堺市	○	身体障害者対象の選考	○			○		○	
62	神戸市									
63	岡山市	○	身体に障害のある者を対象とした選考			○	○	○	○	
64	広島市	○	身体に障害のある者を対象とした特別選考	○	○ 10名		○	○	○	
65	北九州市	○	障害者特別選考			○	○	○	○	
66	福岡市	○	障がい者特別選考	○			○	○	○	
67	熊本市	○	身体に障がいのある者を対象とした特別選考	○	○ 5名		○	○	○	
68	豊能地区	○	身体障害者対象の選考	○			○		○*	
合計		67 (67)		46 (43)	25 (23)	14 (16)	66 (66)	55 (58)	19 (17)	49 (51)

(注) \*は前年度から変更のあった県市を表す。また、( )内は、前年度の数値である。

1(2) 障害のある者の受験者・採用者数

県市名	H26年度 受験者数		H26年度 採用者数		H27年度 受験者数	
	受験者数	うち特別選考	採用者数	うち特別選考	受験者数	うち特別選考
1 北海道	6	5	2	2	10	7
2 青森県	2	2	1	1	3	3
3 岩手県	2	2	0	0	3	3
4 宮城県	4	4	0	0	3	3
5 秋田県	3	3	0	0	5	5
6 山形県	4	4	0	0	3	3
7 福島県	5	5	2	2	4	4
8 茨城県	2	2	1	1	4	4
9 栃木県	3	3	0	0	5	5
10 群馬県	0	0	0	0	3	3
11 埼玉県	19	19	6	6	24	24
12 千葉県	8	8	2	2	15	15
13 東京都	32	32	7	7	41	41
14 神奈川県	16	16	6	6	16	16
15 新潟県	6	6	2	2	3	3
16 富山県	3	3	0	0	3	3
17 石川県	4	4	0	0	3	3
18 福井県	1	1	0	0	3	3
19 山梨県	2	2	0	0	2	2
20 長野県	5	5	3	3	6	6
21 岐阜県	9	6	1	1	4	4
22 静岡県	5	3	0	0	10	8
23 愛知県	17	7	4	2	24	7
24 三重県	5	5	1	1	5	5
25 滋賀県	4	2	2	2	5	3
26 京都府	7	7	1	1	5	5
27 大阪府	21	19	8	6	23	23
28 兵庫県	11	11	2	2	16	16
29 奈良県	3	3	0	0	4	4
30 和歌山県	7	7	2	2	4	3
31 鳥取県	1	1	1	1	2	2
32 島根県	1	1	0	0	0	0
33 岡山県	3	1	1	1	5	1
34 広島県	1	0	0	0	2	2
35 山口県	4	1	1	0	4	1
36 徳島県	1	0	0	0	3	0
37 香川県	3	3	0	0	3	2
38 愛媛県	0	0	0	0	0	0
39 高知県	5	5	1	1	3	3
40 福岡県	9	9	2	2	11	11
41 佐賀県	2	2	0	0	4	4
42 長崎県	1	0	0	0	1	1
43 熊本県	3	3	2	2	1	1
44 大分県	2	2	0	0	2	2
45 宮崎県	1	1	0	0	4	4
46 鹿児島県	3	3	3	3	2	2
47 沖縄県	7	5	0	0	5	4

県市名	H26年度 受験者数		H26年度 採用者数		H27年度 受験者数	
	受験者数	うち特別選考	採用者数	うち特別選考	受験者数	うち特別選考
48 札幌市	1	1	0	0	0	0
49 仙台市	4	4	0	0	3	3
50 さいたま市	0	0	0	0	1	1
51 千葉市	0	0	0	0	0	0
52 横浜市	5	5	1	1	6	6
53 川崎市	1	1	1	1	1	1
54 相模原市	0	0	0	0	1	1
55 新潟市	0	0	0	0	0	0
56 静岡市	0	0	0	0	0	0
57 浜松市	0	0	0	0	0	0
58 名古屋市	5	5	3	3	7	7
59 京都市	2	2	0	0	0	0
60 大阪市	7	7	1	1	0	0
61 堺市	3	3	1	1	2	2
62 神戸市	0	0	0	0	0	0
63 岡山市	0	0	0	0	0	0
64 広島市	1	0	0	0	2	2
65 北九州市	3	3	0	0	3	3
66 福岡市	3	3	0	0	0	0
67 熊本市	2	2	0	0	2	2
68 豊能地区	0	0	0	0	0	0
合計	300	269	71	66	339	302

※仙台市・千葉市・岡山市・広島市・豊能地区(大阪府)は、選考試験をそれぞれ宮城県・千葉県・岡山県・広島県・大阪府と共同で実施するため、受験者・採用者数はそれぞれの県の欄に含まれている。

### 1(3)障害のある者の配置例

障害のある者の平成26年度までの具体的な配置例としては、主に以下のようなものがあつた。

	所属	職名	業務の具体例
視覚障害者	特別支援学校	教諭、理療科教諭・助教諭、講師、実習助手	授業等、家庭科教諭、自立活動担当、理療に関する教科の授業、実習助手等
	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校	教諭、理療科教諭・助教諭、実習助手、低学年生活支援員(非常勤)、事務職員、主事、非常勤嘱託員、臨時職員	授業等、児童の生活支援、学校事務、管理業務
	教育委員会事務局	主事、非常勤一般職員	庶務、経理等
	美術館	主事	庶務、経理等

	所属	職名	業務の具体例
聴覚障害者	特別支援学校	教諭、講師(臨時)、寄宿舍指導員、実習助手	授業等、学級副担任、寄宿舍指導、実習助手
	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校	教諭、養護教諭、事務職員、業務補助職員、主事、非常勤嘱託	授業等、養護業務、学校事務、業務補助、校務用務
	教育委員会事務局、機関	主事、臨時職員	一般事務、事務補助

	所属	職名	業務の具体例
知的精神障害者	高等学校、特別支援学校	実習助手、農場管理補助職員、学習アシスタント、嘱託業務員(1年臨時雇用)、事務補助職員、主事、業務補助職員、非常勤(校務員)、給食調理補助員	学習指導の補助、農業に係る補助的業務、学校農場労務、農場管理における業務補助、事務補助作業等、校務員業務、給食調理
	教育委員会事務局、総合教育センター、教育センター、学校業務サービスセンター、校園営繕園芸事務所	嘱託員、臨時職員、非常勤職員、非常勤嘱託員、事務職、事務補助職員、業務補助職員	一般事務、事務補助作業等、文書送付仕分け業務等、営繕業務

	所属	職名	業務の具体例
肢体不自由者 病弱者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校	教諭、養護教諭、農芸員、寄宿舍指導員、実習助手、講師(臨時)、非常勤講師事務主事、事務職員、事務補助職員、主事、業務補助職員、非常勤嘱託員、学校栄養職員	授業等、養護業務、理科の指導、農場・農作物の維持管理、寄宿舍指導、学校事務、事務補助作業等、校務用務、学校給食の栄養管理、栄養指導等
	図書館	司書嘱託員、事務補助職員	図書資料の分類整理、カウンター業務、事務補助作業等
	教育委員会事務局	事務職員、事務補助職員、主事、業務補助職員、臨時職員、嘱託員、非常勤嘱託員	一般事務、事務補助、事務補助作業等
	教育事務所	事務職員、入力事務嘱託員、主事	一般事務、管理業務
	教育施設、出先機関	事務職員、主事、臨時職員、非常勤嘱託職員	行政事務、事務補助、美術館業務嘱託

## 2 試験時における障害のある者への配慮

### (1) 教員採用選考試験時における障害のある者への配慮の周知方法

県市名	配慮の周知方法			
	募集要項等	パンフレット	ホームページ	受験説明会
1 北海道	○		○	○
2 青森県	○		○	○
3 岩手県	○	○	○	
4 宮城県	○	○	○	○
5 秋田県	○		○	
6 山形県	○		○	
7 福島県	○		○	
8 茨城県	○	○	○	○
9 栃木県	○	○	○	○
10 群馬県	○		○	
11 埼玉県	○	○		○
12 千葉県	○	○	○	○
13 東京都	○		○	○
14 神奈川県	○	○	○	○
15 新潟県	○	○	○	○
16 富山県	○		○	○
17 石川県	○	○*	○	○
18 福井県	○		○	○
19 山梨県	○		○	○
20 長野県	○		○	
21 岐阜県	○		○	○
22 静岡県	○	○	○	
23 愛知県	○	○	○	○
24 三重県	○		○	○
25 滋賀県	○		○	○
26 京都府	○			
27 大阪府	○		○	○
28 兵庫県	○	○	○	○
29 奈良県	○		○	○
30 和歌山県	○		○	○
31 鳥取県	○		○	○
32 島根県	○	○	○	○
33 岡山県	○		○	○
34 広島県	○	○	○	○
35 山口県	○	○	○	○
36 徳島県	○		○	○
37 香川県	○		○	○
38 愛媛県	○			
39 高知県	○		○	
40 福岡県	○	○	○	
41 佐賀県	○	○	○	○
42 長崎県	○		○	○
43 熊本県	○	○	○	○
44 大分県	○		○	○
45 宮崎県	○	○	○	○
46 鹿児島県	○		○	○
47 沖縄県	○		○	○*

県市名	配慮の周知方法			
	募集要項等	パンフレット	ホームページ	受験説明会
48 札幌市	○		○	○
49 仙台市	○	○	○	○
50 さいたま市	○		○*	○
51 千葉市	○	○	○	○
52 横浜市	○	○	○	○
53 川崎市	○		*	○
54 相模原市	○	*	○	○
55 新潟市	○	○	○	○
56 静岡市	○	○		○
57 浜松市	○			
58 名古屋市	○		○	○
59 京都市	○	○	○	○
60 大阪市	○		○	○
61 堺市	○	○*	○	○
62 神戸市	○			
63 岡山市	○		○	○
64 広島市	○	○	○	○
65 北九州市	○		○	
66 福岡市	○		○	○
67 熊本市	○		○	○
68 豊能地区	○		○*	○
合計	68 (68)	27 (27)	61 (61)	54 (53)

(注) \*は前年度から変更のあった県市を表す。  
また、( )内は、前年度の数値である。

#### その他の周知方法例

- ・障害者施設・団体を通じた周知等(宮城県、三重県、山口県、愛媛県)
- ・出願後に配慮を行う旨を口頭(聴覚障害者にはFAX)で周知(石川県)
- ・ラジオ等での広報、大学訪問の際の説明(三重県)
- ・大学訪問等の機会に説明(福岡県)
- ・関係団体(聴覚障害者センター等)に実施要項等送付し、周知を図る(大分県)
- ・点字版の募集要項配布(滋賀県)





2(2)筆記試験における配慮 ①視覚障害者

県市名	何らかの配慮の実施	具 体 的 な 配 慮 の 内 容									
		点字受験	文字・用紙の拡大	拡大鏡使用	試験時間延長	点字補助員	介添者	ワープロ等使用	音声回答	別室受験	受験者の希望に対応
1 北海道	○	○	○	○	○*			○*		○	○
2 青森県	○										○
3 岩手県	○		*	*	*					*	○
4 宮城県	○	○	○	*	○	*	*			○	○
5 秋田県	○		○	○*						*	○
6 山形県	*	*	*	*							*
7 福島県	○		○	○			*				
8 茨城県	○	○	○	○						○	○
9 栃木県	○	○	○	○	○					○	○
10 群馬県	○										○
11 埼玉県	○	○	○	○	○		○			○	○
12 千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13 東京都	○	○	○	○	○			○		○	○
14 神奈川県	○	○	○	○	○					○	○
15 新潟県	○	○	○	○	○		○		○	○	○
16 富山県	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
17 石川県	○			*							○
18 福井県	○										○
19 山梨県	○		○	○	○						○
20 長野県	○	○	○	○	○					○	○
21 岐阜県	○	○	○	○	○	○	○			○	○
22 静岡県	○	○	○	○	○					○	○
23 愛知県	○	○*	○*	○	○					○	○
24 三重県	○	○	○	○	○			○		○	○
25 滋賀県	○				○			○	○	○	○
26 京都府	○	○	○	○	○					○	
27 大阪府	○	○	○	○	○					○*	
28 兵庫県	○	○	○	○	○		○			○	○
29 奈良県	○	○	○							○	○
30 和歌山県	○	○					○			○	○
31 鳥取県	○	○	○	○	○						○
32 島根県	○	○	○	○	○					○	○
33 岡山県	○		○	○	○					○	○
34 広島県	○*	○*	○*	○*	○*					○*	
35 山口県	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
36 徳島県	○	○	○	○	○		○	○		○	○
37 香川県	○*		○*	○*	○*		○*			○*	○*
38 愛媛県	○	○	○	○	○					○	○
39 高知県	○	○			○		○	○		○	○
40 福岡県	○	○	○	○	○			○		○	○
41 佐賀県	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
42 長崎県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43 熊本県	○	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○
44 大分県	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
45 宮崎県	○		○	○	○					○	○
46 鹿児島県	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
47 沖縄県	○	○			○	○				○	○*

県市名	何らかの配慮の実施	具 体 的 な 配 慮 の 内 容									
		点字受験	文字・用紙の拡大	拡大鏡使用	試験時間延長	点字補助員	介添者	ワープロ等使用	音声回答	別室受験	受験者の希望に対応
48 札幌市	○	○*	○	○						○	○
49 仙台市	○	○	○	*	○	*	*			○	○
50 さいたま市	○	○				○				○	
51 千葉市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52 横浜市	○	○	○	○	○			○		○	○
53 川崎市	○	○	○	○	○					○	○
54 相模原市	○	○	○	○	○	○				○	○
55 新潟市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56 静岡市	○										○
57 浜松市	○										○
58 名古屋市	○		○	○	○*					○*	○
59 京都市	○										○
60 大阪市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61 堺市	○	*	*	*	○			○*		○	○
62 神戸市	○										○
63 岡山市	○		○	○	○					○	○
64 広島市	○*	○*	○*	○*	○*					○*	
65 北九州市	○	○*	○	○							○*
66 福岡市	○										○
67 熊本市	○										○
68 豊能地区	○	○	○	○	○					○*	○*
合 計	67	46	50	47	48	13	19	19	10	51	60

(注)1 平成27年度採用選考において実施した配慮及び対応可能であった配慮について記載している。

その他の配慮事項

- ・障害の程度に応じて、個別に配慮する(新潟市、福岡市)
- ・ライトの使用(千葉県・千葉市、新潟県、富山県、三重県、山口県、徳島県、佐賀県、長崎県、鹿児島県、横浜市、新潟市、大阪市、北九州市)
- ・点字ディスプレイの使用(神奈川県)
- ・拡大読書器の持ち込み(愛知県、徳島県)
- ・受験会場の掲示物を拡大し、事前に送付(三重県)
- ・障害者を対象とした特別選考に該当する受験者に対する配慮(三重県)
- ・試験問題の音声読み上げ(パソコンによる音声読み上げソフトを使用)(京都府、山口県、名古屋市、堺市、豊能地区)
- ・出願時に配慮事項等について確認をして対応をする。(岐阜県)

2(2)筆記試験における配慮 ②聴覚障害者

県市名	何らかの配慮の実施	具 体 的 な 配 慮 の 内 容							
		手話通訳	補聴器使用	要約筆記	書面・筆談指示	介添員配置	前列席・希望席に座席を配置	別室受験	受験者の希望に対応
1 北海道	○	○	○	*	○		○	○	○
2 青森県	○								○
3 岩手県	○								○
4 宮城県	○	○	○	○	○	*	○	○	○
5 秋田県	○	○			○				○
6 山形県	○	*	*		*		○		○
7 福島県	○	○	○						
8 茨城県	○	○	○	○	○		○	○	○
9 栃木県	○	○	○		○	○	○	○	○
10 群馬県	○	○*				○*	○*		○
11 埼玉県	○	○			○	○	○	○	○
12 千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13 東京都	○	○	○	○	○		○	○	
14 神奈川県	○	○	○	○	○		○	○	○
15 新潟県	○	○	○		○	○	○	○	○
16 富山県	○	○	○		○	○	○	○	○
17 石川県	○	○		○	○		○	○	○
18 福井県	○		*				○*		○
19 山梨県	○	○	○		○		○		○
20 長野県	○	○		○	○	○	○		○
21 岐阜県	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22 静岡県	○	○	○		○		○		○
23 愛知県	○	○	○	○*	○		○		○
24 三重県	○	○	○	○	○		○	○	○
25 滋賀県	○	○			○		○	○	○
26 京都府	○	○	○		○		○		
27 大阪府	○	○	○	○	○		○		
28 兵庫県	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29 奈良県	○	○			○		○	○	○
30 和歌山県	○	○					○		○
31 鳥取県	○	○	○				○		○
32 島根県	○		○				○	○	○
33 岡山県	○*		○*		○*			○*	○*
34 広島県	○*	○*	○*		○*			○*	
35 山口県	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36 徳島県	○	○	○		○	○	○	○	○
37 香川県	○	○	○		○		○		○
38 愛媛県	○	○	○		○		○	○	○
39 高知県	○	○	○		○	○		○	○
40 福岡県	○	○	○	○	○		○	○	○
41 佐賀県	○	○	○		○		○	○	○
42 長崎県	○	○	○		○	○	○	○	○
43 熊本県	○	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○
44 大分県	○	○			○			○	○
45 宮崎県	○	○	○		○		○		○
46 鹿児島県	○						○		○
47 沖縄県	○	*			○		○		○*

県市名	何らかの配慮の実施	具 体 的 な 配 慮 の 内 容							
		手話通訳	補聴器使用	要約筆記	書面・筆談指示	介添員配置	前列席・希望席に座席を配置	別室受験	受験者の希望に対応
48 札幌市	○	○	○*	○	○		○	○	○
49 仙台市	○	○	○	○	○	*	○	○	○
50 さいたま市	○	○						○	
51 千葉市	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52 横浜市	○	○	○		○		○	○	○
53 川崎市	○	○	○		○		○	○	○
54 相模原市	○	○	○	○	○		○	○	○
55 新潟市	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56 静岡市	○								○
57 浜松市	○								○
58 名古屋市	○	○*					○*		○
59 京都市	○								○
60 大阪市	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61 堺市	○	*	○		*		○	*	○
62 神戸市	○								○
63 岡山市	○*		○*		○*			○*	○*
64 広島市	○*	○*	○*		○*			○*	
65 北九州市	○	*	○				○*		
66 福岡市	○								○
67 熊本市	○								○
68 豊能地区	○	○	○	*	○		○		
合 計	68	51	45	21	48	17	51	39	59

(注) 平成26年度採用選考において実施した配慮及び対応可能であった配慮について記載している。

その他の配慮事項

- ・障害の程度に応じて、個別に配慮する(新潟市、福岡市)
- ・ハンドマイクの使用(千葉県、富山県、三重県、横浜市、新潟市)
- ・補助用ホワイトボード使用許可(香川県)
- ・出願時に配慮事項等について確認をして対応をする。(岐阜県)
- ・障害者対象とした特別選考に該当する受験者に対する配慮(三重県)
- ・事前に受験者の関係者(保護者)との電話による配慮事項の確認(沖縄県)

2(2)筆記試験における配慮 ③肢体不自由者

県市名	何らかの配慮の実施	具 体 的 な 配 慮 の 内 容						
		試験時間延長	解答方法の変更	ワープロ等使用	用紙拡大	別室受験	試験会場・机等の配慮	受験者の希望に対応
1 北海道	○				○	○	*	○
2 青森県	○							○
3 岩手県	○						○*	○
4 宮城県	○	○			○	○	○	○
5 秋田県								
6 山形県	○						○	○
7 福島県	○						○	
8 茨城県	○					○	○	○
9 栃木県	○					○	○	○
10 群馬県	○							○
11 埼玉県	○	○			○	○		○
12 千葉県	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*
13 東京都	○	○	○*		○*	○	○	
14 神奈川県	○	○	○		○	○		○
15 新潟県	○	○	○	○	○	○	○	○
16 富山県	○	○		○	○	○	○	○
17 石川県	○							○
18 福井県	○*							○*
19 山梨県	○	○					○	○
20 長野県	○	○				○	○	○
21 岐阜県	○					○	○	○
22 静岡県	○							○
23 愛知県	○						○	○
24 三重県	○	○	○	○	○	○	○	○
25 滋賀県	○						○*	○
26 京都府	○							○
27 大阪府	○	○			○		○	
28 兵庫県	○	○	○		○	○	○	○
29 奈良県	○	○				○		○
30 和歌山県	○							○
31 鳥取県	○						○	○
32 島根県	○	○			○	○	○	○
33 岡山県								
34 広島県	○	○*	○*	○*	○*	○	○	
35 山口県	○	○			○	○	○	○
36 徳島県	○	○	○	○	○	○	○	○
37 香川県	○*							○*
38 愛媛県	○	○	○	○	○	○	○	○
39 高知県	○	○	○			○		○
40 福岡県	○	○	○	○	○	○	○	○
41 佐賀県	○	○		○	○	○	○	○
42 長崎県	○	○	○	○	○	○	○	○
43 熊本県	○	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○
44 大分県	○					○	○	○
45 宮崎県	○	○			○	○	○	○
46 鹿児島県	○					○	○	○
47 沖縄県	○						○	○*

県市名	何らかの配慮の実施	具 体 的 な 配 慮 の 内 容						
		試験時間延長	解答方法の変更	ワープロ等使用	用紙拡大	別室受験	試験会場・机等の配慮	受験者の希望に対応
48 札幌市	○					○		○
49 仙台市	○	○			○	○	○	○
50 さいたま市	○						○	
51 千葉市	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*
52 横浜市	○							○
53 川崎市	○	○			○	○	○	○
54 相模原市	○	○			○	○	○	○
55 新潟市	○	○	○	○	○	○	○	○
56 静岡市	○							○
57 浜松市	○							○
58 名古屋市	○						*	○
59 京都市	○							○
60 大阪市	○	○			○	○	○	○
61 堺市	○	*	*		*	*	○	○
62 神戸市	○							○
63 岡山市								
64 広島市	○	○*	○*	○*	○*	○	○	
65 北九州市	○						○	
66 福岡市	○							○
67 熊本市	○							○
68 豊能地区	○	○			○	○*	○	○*
合 計	65	32	16	14	29	37	43	58

(注) 平成27年度採用選考において実施した配慮及び対応可能であった配慮について記載している。

その他の配慮事項

- ・障害の程度に応じて、個別に配慮する(新潟市、福岡市)
- ・試験会場を可能な限り外部との出入りに近いところに配置(岐阜県)
- ・車椅子の使用についての配慮(愛知県)
- ・障害者用トイレの近くの試験会場で受験(山口県)
- ・試験会場を可能な限り、外部からの出入口に近い場所に配置(岐阜県)
- ・事前に受験者本人との電話による配慮事項の確認(沖縄県)

2(3) 筆記試験以外の配慮

県市名	配慮の実施	実技試験・面接試験の配慮	筆記・実技試験以外の配慮
1 北海道	○	【視覚障害のある者】 個別面接及び集団面接の際に、別途補助員を配置するなど配慮 【聴覚障害のある者】 個別面接及び集団面接の際に手話通訳を配置するとともに、検査員等の発言が聞き取りやすいように席の配置などに配慮	受検者の希望に応じて可能な配慮をする。
2 青森県	○	受験者の希望に対応	受験者の希望に対応
3 岩手県	○	受験者の身体状況に応じて配慮を決定	受験者の身体状況に応じて配慮を決定
4 宮城県	○	障害の種類や程度に応じて試験時間を延長する。また、実技試験を免除する。 障害の種類や程度に応じて配慮事項を決定する。	具体的な配慮方法等については、担当者が受検者と直接相談の上決定する。
5 秋田県	○	特別支援学校教諭等(聴覚障害)は、英会話面接を免除、面接における手話通訳配置	
6 山形県	○	マット運動で義足の使用を認めた。 集団討議において、面接委員から同じグループの他の受検者に対し、大きな声ではっきり話すよう依頼した。	受検者の要望に対応している。
7 福島県	○	手話通訳者の配置、介助員の配置、スタート合図に旗を併用、FM補聴器の利用	
8 茨城県	○	同グループの受検者に、障害者への配慮依頼(聴覚障害) 必要に応じて試験官による筆談、書面による指示(聴覚障害)	必要に応じた筆談の実施(聴覚障害)
9 栃木県	○	受験者の希望に対応	受験者の希望に対応
10 群馬県	○	受験者の希望に対応	受験者の希望に対応
11 埼玉県	○	聴覚障害者に対して、手話通訳者を入れている。 聴覚障害者の集団討論の時間を5分延長、及び手話通訳者を入れている。(高校) 聴覚障害者の個人面接、集団面接に手話通訳者を入れている。	面接試験等の受験会場への誘導を行っている。
12 千葉県	○	聴覚に障害のある者に対し、手話通訳者を配慮した。	模擬授業において、聴覚の障害のある者に対し、手話通訳者を配慮した。
13 東京都	○	手話通訳者、要約筆記者、誘導員の配置	
14 神奈川県	○	視覚障害者については誘導を、聴覚障害者については必要に応じて手話通訳者や要約筆記者を配置する。	視覚障害者については、誘導を配置。
15 新潟県	○	一部又は全部の免除等 手話通訳者の配置等	メールによる連絡、試験会場・期日の変更等 自家用車の試験会場への乗り入れ許可
16 富山県	○	聴覚障害者の体育実技および水泳実技では、受検上の諸注意を書面で示し、検査の開始を監督者が腕を大きく上げ下げする動作で合図した。聴覚障害者の集団面接では、受検上の諸注意を書面で示し、手話通訳者2名を同席させた。個人面接では、手話通訳者1名を同席させた。	
17 石川県	○	受験者の希望に対応 聴覚障害者の面接試験は、手話通訳者を配置し、時間も延長して実施。	受験者の希望に対応



県市名	配慮の実施	実技試験・面接試験の配慮	筆記・実技試験以外の配慮
18 福井県	○	実技試験、面接試験それぞれについて受験者の希望に対応する予定であったが、対応が必要な受験者がいなかった。	
19 山梨県	○	実施する場合は、手話通訳、補聴器使用を予定していた。	受検者の希望に対応。
20 長野県	○	【聴覚障害のある者】希望により手話通訳者を配置する。音楽実技の全部を免除する。希望により手話通訳者を配置する。	【聴覚障害のある者】受付段階から手話通訳者と専任担当者をつける。手話通訳者との事前打合会を行う。
21 岐阜県	○	受験者の障害の様子と試験内容から、事前に配慮事項に明らかにし、本人に通知し安心感をもたせている。実技試験の内容については、一般選考受験者と同じ内容で行うことを原則とする。面接試験の実施時間や検査会場などで配慮。	必要に応じて介助員をつけるなど、安心して受験できるように、また、障害によって不利にならないように配慮。
22 静岡県	○	受験者から配慮希望について聞き取りを行い、個々の実情に応じて実施している。	受験者から配慮希望について聞き取りを行い、個々の実情に応じて実施している。
23 愛知県	○	聴覚障害者に対して、口述試験(面接)を手話通訳により実施	受験者と電話等で配慮事項の確認をする。試験会場を駅に近いこと、バリアフリーであること等についての配慮をした。
24 三重県	○	障害者を対象とした特別選考の申込者で、肢体不自由のある者に対して、音楽、体育の内容の代替を実施。	試験会場の駐車スペース確保
25 滋賀県	○	身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から6級までの者については、希望により、障害の程度等に応じて第二次選考の水泳実技を、振替または免除することがある。手話通訳をつける。面接員との距離を近くする。(口角の動きを読み取るため)	
26 京都府	○	配慮者に実技試験受験者なし 手話通訳の配置(聴覚障害の受験者対応)	試験会場までの送迎・介添を許可(視覚障害の受験者対応)
27 大阪府	○	体育実技において、水泳を出来ない旨を申し出てきた者(肢体不自由など)に対し面接へ振り替え。 英語実技において、検査員からの指示などをフラッシュカードで提示。 手話通訳の配置	
28 兵庫県	○	移動の少ない控え室による対応など、受験者の希望に応じて配慮 手話通訳者による対応など(その他は実技と同じ)	対応する担当者を決め、駐車場から説明教室への誘導及び別室にて個別対応
29 奈良県	○	聴覚障害の受験者には、手話通訳者がつく。	試験会場への車での乗り入れ許可及び本人の希望をできる限り考慮した対応を行っている。
30 和歌山県	○	受検者本人から配慮の希望について聞き取りを行い、受検者の個々の実情に応じて実施している。	視覚障害者や車いす使用の受検者には、受付から検査室及び手洗い等への案内を行う準備をした。
31 鳥取県	○	聴覚障害のある者のうち、希望に対する実技試験免除 手話通訳	
32 島根県	○	事前に具体的な配慮希望事項を受験者に聞き、障害の程度に応じて、試験内容の軽減及び受験方法等について配慮する。試験の免除を行う場合もある。	試験会場を1階にしたり、トイレや保健室等の近くにしたりする等、受験者の希望に応じて適切に対応する。
33 岡山県	○	個人面接、模擬授業・口頭試問については、口語と筆談により実施。集団面接は、手話通訳をつけて実施。	視覚障害のある者については、掲示物を目の高さ以下に掲示し、試験室までの案内を行った。

県市名	配慮の実施	実技試験・面接試験の配慮	筆記・実技試験以外の配慮
34 広島県	○	【聴覚障害のある者】実技試験の一部(オルガン演奏, 歌唱, リコーダー演奏)を免除した。手話通訳を配置し, 面接時間を延長した。	【聴覚障害のある者】グループワーク(第1時試験)において, 手話通訳を配置し, 筆談ボードの持ち込みを認めるとともに, 試験時間を延長した。
35 山口県	○	肢体不自由のある者については, 実技試験の一部を免除。 視覚障害のある者については, 時間を延長して実施。 視覚障害のある者については, 介添員を配置して受験会場の様子や面接委員の数など, 情報提供に努める。 聴覚障害のある者については, 手話通訳士を配置して情報提供に努める。	視覚障害者の教室移動には介添員を配置。また, 拡大した試験会場図を作成し, 会場の情報提供に努める。 聴覚障害者には, 連絡・指示事項を書面にして渡し, 情報提供に努める。
36 徳島県	○	受審者の希望に応じて, 可能な配慮をする。	受審者の希望に応じて, 可能な配慮をする。
37 香川県	○	【聴覚障害のある者】:手話通訳者を配置。	
38 愛媛県	○	事前面談を行い, 配慮や免除についての要望を聴取し, それに応じて個別に柔軟に対応する。	事前面談を行い, 配慮や免除についての要望を聴取し, それに応じて個別に柔軟に対応する。
39 高知県	○	障害の程度に応じて, 実技審査の免除。 聴覚障害者については, 手話通訳者を配置。	受審者の要望に応じて個別に対応。
40 福岡県	○	【視覚障害のある者】 誘導を行う。 【聴覚障害のある者】 手話通訳者を配置する。誘導を行う。実技試験の時間を延長する。	【視覚障害のある者】適性検査において, 介添員を配置し, 回答の補助を行う。 【聴覚障害のある者】適性検査において, 介添員を配置し, 筆談や合図を行う。
41 佐賀県	○	・聴覚障害者には, 面接時に面接員との間隔を狭くし, 読話をしやすくする。 ・必要に応じて筆談ができるように用具を準備する。  過去の試験において実施した配慮事項 ・点字受験 ・拡大文字または問題用紙の拡大による受験 ・試験時間の延長 ・指示等を書面や筆談で実施 ・別室受験 ・文鎮の利用 等	
42 長崎県	○	受験者の障害の程度や希望に応じて配慮する。	受験者の障害の程度や希望に応じて配慮する。
43 熊本県	○	受考者の障害の程度や希望に応じて配慮する。	受考者の障害の程度や希望に応じて配慮する。
44 大分県	○	障害の程度に応じて, 体育実技を免除することがある。	障害の程度に応じて, 適性検査の一部又は全てを免除することがある。
45 宮崎県	○	・水泳実技においては, 手話通訳者の配置と旗によるスタートの合図の配慮を行う。 ・本人からの申請書の内容に応じて実技試験の免除等を行う。 ・受験者の障害の程度や希望等に応じて手話通訳者の配置など配慮する。	メールによる連絡や手話通訳者の配置。
46 鹿児島県	○	本人からの申請書の内容に応じて, 適切に対応している。	本人からの申請書の内容に応じて, 適切に対応している。
47 沖縄県	*		
48 札幌市	○	音楽実技検査における伴奏の免除	
49 仙台市	○	・障害の種類や程度に応じて試験時間を延長する。また, 実技試験を免除する。 ・障害の種類や程度に応じて配慮事項を決定する。	具体的な配慮方法等については, 担当者が受験者と直接相談の上決定する。
50 さいたま市	○	障害の種類や程度に応じ受験上の配慮を行う。	

県市名	配慮の実施	実技試験・面接試験の配慮	筆記・実技試験以外の配慮
51 千葉市	○	聴覚に障害のある者に対し、手話通訳者を配慮した。	模擬授業において、聴覚の障害のある者に対し、手話通訳者を配慮した。
52 横浜市	○	聴覚障害(重複障害も含む)のある受験者に対して、模擬授業・集団面接を個人面接時に併せて行い、手話通訳を配置した。	必要な配慮を行っている。
53 川崎市	○	手話通訳者の配置	場面指導試験における手話通訳者の配置
54 相模原市	○	事前に相談を受け、障害の程度に応じて具体的内容を決定。	受験者の障害の程度や希望に応じて配慮する。
55 新潟市	○	受検に際しては、障害の程度に応じて、実技検査・面接検査の実施を考慮する。	会場への出入り、階段、トイレ等、受験者の立場に立って対応を図る。
56 静岡市	○	受験者の障害の程度に応じて、受験上の配慮をする。	
57 浜松市	○	受験者の希望に可能な限り対応する。	障害の程度に応じて、個別に配慮する。
58 名古屋市	○	・肢体不自由のある者に対しては、体育等実技に変えて小論文を実施した。 ・受験者の希望に対応	視覚障害のある者に対しては、クレペリン検査に変えて小論文を実施した。
59 京都市	○	受験者の障害の程度や希望に応じて配慮する。	受験者の障害の程度や希望に応じて配慮する。
60 大阪市	○	面談や電話相談により、実技試験の方法を決める。聴覚障害者には、手話通訳をつける。	
61 堺市	○	聴覚障害のある者に対しては、受験者が聞こえやすい座席に変更するとともに補聴器の使用を認めた。肢体不自由のある者に対しては、座席の位置を配慮した。視覚障害のある者に対して、集団討論のテーマを用紙ではなく口頭で伝えた。また、面接員が発言する際、「私は面接員です」と述べた後に発言した。	事前に電話で配慮を要する内容を聞き取り、受験者の要望に応えた。たとえばエレベータ使用による会場内の移動を許可したり会場案内を行う係員を配置したりした。
62 神戸市	○	障害の種類、程度に応じて個別に対応	
63 岡山市	○	個人面接、模擬授業・口頭試問では口語と筆談で実施。集団面接では手話通訳をつけて実施。	視覚障害のある者については、掲示物を目の高さ以下に掲示し、試験室までの案内を行った。
64 広島市	○	【聴覚障害のある者】 実技試験の一部(オルガン演奏、歌唱、リコーダー演奏)を免除した。 手話通訳を配置し、面接時間を延長した。	【聴覚障害のある者】 グループワーク(第1時試験)において、手話通訳を配置し、筆談ボードの持ち込みを認めるとともに、試験時間を延長した。
65 北九州市	○	受験者の障害の内容・程度により個別に検討	論文試験及び適性検査において、文字・用紙の拡大を実施した
66 福岡市	○	障害の程度に応じて、個別に配慮する。	
67 熊本市	○	受験者の障害の程度や希望に応じて配慮する。	受験者の障害の程度や希望に応じて配慮する。
68 豊能地区	○	・体育実技において、水泳を出来ない旨を申し出てきた者(肢体不自由など)に対し面接へ振り替え。 ・手話通訳の配置	
合計	67		

(注) 平成26年度採用選考において実施した配慮及び対応可能であった配慮について記載している。

